

令和 6（2024）年度 資源評価調査報告書（拡大種）

種名	ヒラメ	対象水域	北海道 (日本海～津軽海峡海域)
担当機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部	協力機関名	北海道立総合研究機構 中央水産試験場

1. 調査の概要

北海道立総合研究機構（以下、「道総研」という）中央水産試験場が実施している各種漁獲物・生物調査および道総研水産研究本部が公表している資源評価結果（中央水産試験場 2024）による資源量および漁獲量の推移等を参考に現在の資源の水準および動向を判断した。

2. 漁業の概要

北海道におけるヒラメは宗谷総合振興局オホーツク海側から道西日本海、津軽海峡を経て胆振、日高振興局海域に分布し、日本海と津軽海峡で主に漁獲される。定置網、刺し網、へらびき釣りで主に漁獲される。1980年代後半では定置網による漁獲が全体の5割以上を占めたが、近年では刺し網による漁獲が増加している（藤岡 2003）。中央水産試験場（2024）によると、対象海域における1985年度（漁獲年度：8月～翌年7月）以降の漁獲量は、1990年代までは1999年度（1,343トン）を除いて400～900トン台で、2000年代以降は600～1,000トン台で複数のピークを伴いながら推移しており、2022年度は713トンであった（図1）。また、1歳魚の漁獲が少なくなった2000年代半ば以降の漁獲の主体は2～3歳魚となっている（図2）。

3. 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：北海道では日本海から津軽海峡に多く分布し、東部の太平洋やオホーツク海にはほとんどみられない（藤岡 2003）。水温が上昇する春季に浅海域に移動し、秋季には沖合に分布域を移す。また、9月までは北方向への移動傾向を示し、11～12月には南下する個体が増加する（中央水産試験場 2024）。
- (2) 年齢・成長：対象海域では、雄では3歳で全長 40 cm、5歳で 47 cm に達し、雌では3歳で 46 cm、5歳で 58 cm、9歳で 68 cm に達する（中央水産試験場 2024）。
- (3) 成熟・産卵：雄では2歳から成熟する個体が見られ、全長 29 cm 以上で 50%以上の個体が成熟する。雌では2歳から成熟する個体が見られ、全長 41 cm 以上で 50%以上の個体が成熟する。産卵期は6～8月頃で、産卵水深は20～50 m である。孵化後の仔魚は浮遊生活を送り、変態期に岸近くに移動する（中央水産試験場 2024）。
- (4) 被捕食関係：仔稚魚期は動物プランクトン（カイアシ類、尾虫類）、着底期の稚魚はアミ類、未成魚～成魚は魚類、エビ類、イカ類等を主に摂餌する（藤岡 2003）。

4. 資源状態

道総研が公表しているコホート解析による資源評価（中央水産試験場 2024）では、1997年度以降の資源量は概ね1,900～3,200トンの範囲で推移している。2016～2018年度は4歳以上の高齢魚の漸増により資源量は増加したが、2019年度以降は減少傾向であり、2022年度（2022年8月～翌年7月）は1～2歳魚が減少したことから2,422トンとなった（図3、4）。評価基準年（2000～2019年度）の資源量の平均値を100として±40の範囲を中位、これより多い場合は高位、少ない場合は低位と定義した（中央水産試験場 2024）。資源量の推移から、2022年度の資源水準は中位、直近5年間（2018～2022年度）の資源量の推移から資源動向は減少と判断した。

5. その他

1995年以降、資源管理協定に基づき未成魚保護のため小型魚の水揚げ制限が実施されている。また、1996年以降種苗放流が行われている（中央水産試験場 2024）。

6. 引用文献

中央水産試験場 (2024) ヒラメ（日本海～津軽海峡海域）. 2024年度北海道周辺海域における主要魚種の資源評価書, 北海道立総合研究機構水産研究本部, 229-240.
藤岡 崇 (2003) ヒラメ. 「漁業生物図鑑 新北のさかなたち」水島敏博・鳥澤 雅監修、北海道新聞社, 札幌, 232-237.

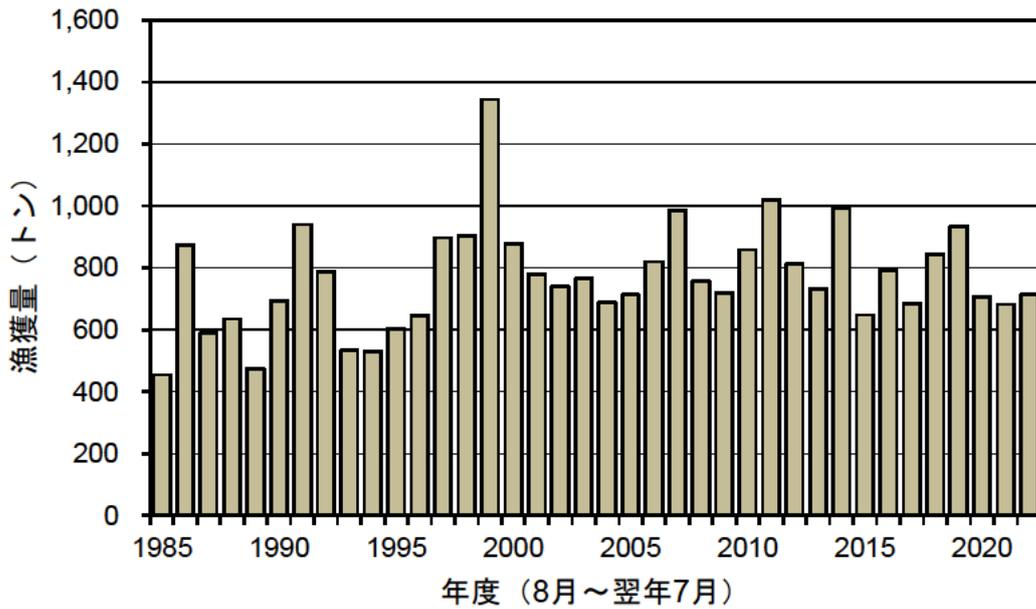


図1. 北海道の日本海～津軽海峡海域におけるヒラメの漁獲量の推移（中央水産試験場（2024）を改編）

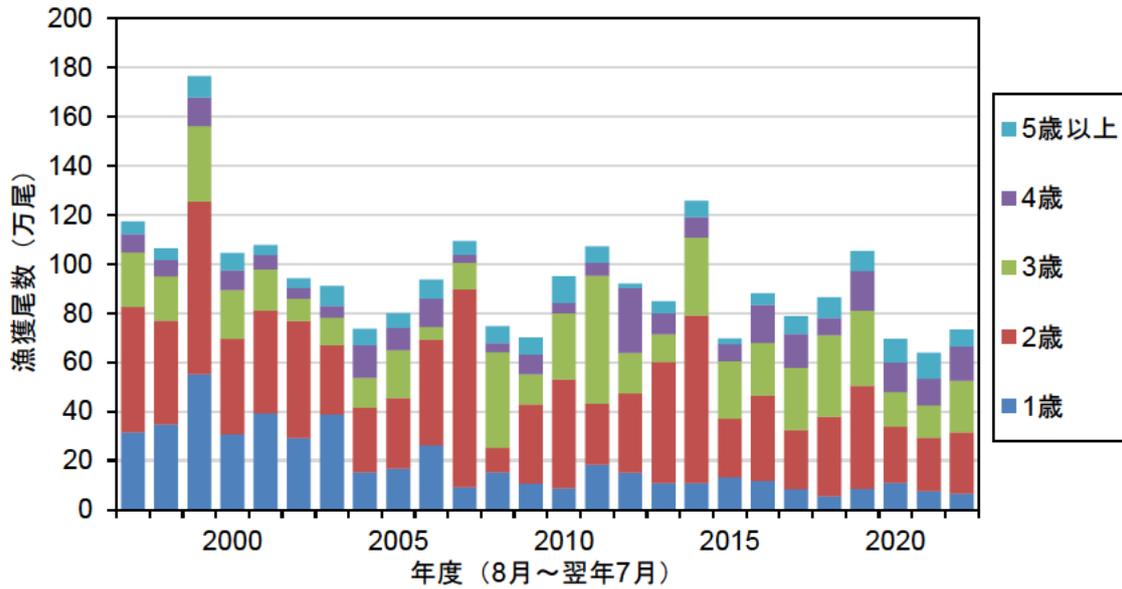


図2. 北海道におけるヒラメの年齢別漁獲尾数の推移（中央水産試験場（2024）を改編）

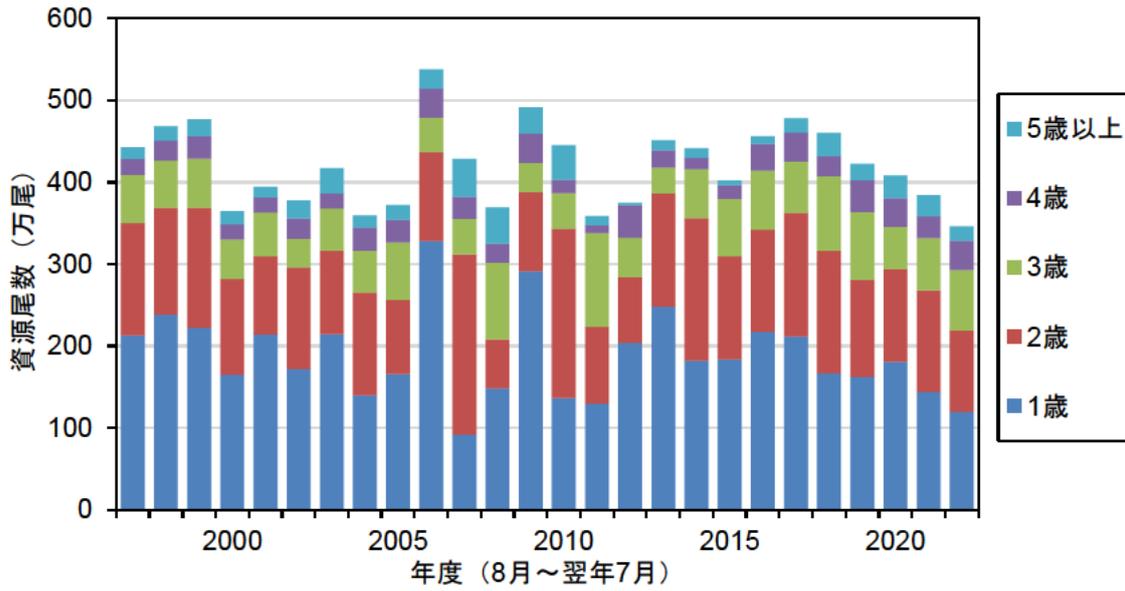


図3. 北海道におけるヒラメの年齢別資源尾数の推移（中央水産試験場（2024）を改編）

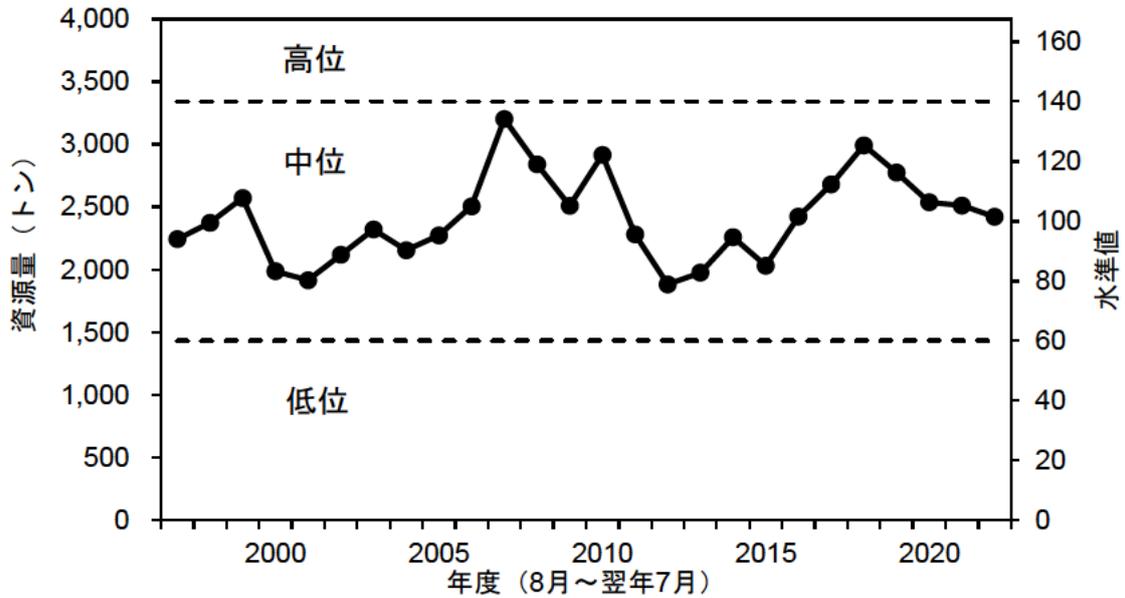


図4. 北海道におけるヒラメの資源量の推移（中央水産試験場（2024）を改編）
破線はそれぞれ高位水準と中位水準、中位水準と低位水準の境界を示す。